

若手会員の会 活動報告

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jws/welnet/>

(若手会員の会からのお知らせはホームページにも掲載しています)

溶接学会中国支部 第5回溶接・接合工学学修会 共催の報告

若手会員の会運営委員会委員長 山本元道 (広島大学)

Joint hosting report of the 5th welding/joining basic seminar hosted by Chugoku branch

主催：(社)溶接学会中国支部

共催：(社)溶接学会 若手会員の会運営委員会

後援：(社)日本溶接協会 岡山県支部

開催日時：平成20年8月27日(水)、28日(木)9時
30分～16時40分

開催場所：メルパルク岡山(岡山市桑田町1-13)

受講料：3,000円

テキスト：溶接学会編「溶接・接合技術入門」

受講者数：61名

プログラム：

第1日目：8月27日(水)

9:30～9:35 開会の挨拶

中国支部副支部長 平岡 裕 氏(岡山理科大学)

9:35～11:30 基礎講座(1)

講師：広島大学大学院工学研究科 山本 元道 氏

講義内容：溶接法・機器(各種溶接法, アーク溶接現象, 溶接機器, 溶接ロボット, 切断法, 溶接・切断用安全機器など)

11:30～12:30 昼食

12:30～14:30 基礎講座(2)

講師：近畿大学工学部 教授 和田 宏一

講義内容：溶接施工・管理(溶接構造物の品質保証, 溶接施工計画・管理, 溶接変形の防止と矯正, 欠陥の防止と補修, 安全・衛生, 非破壊検査)

14:40～16:40 基礎講座(3)

講師：大阪大学接合科学研究所 助教 寺崎 秀紀

講義内容：溶接冶金(鉄鋼材料, 鋼材の溶接性, 溶接欠陥, 鋼の溶接材料, ステンレス鋼の溶接, アルミニウムの溶接など)

17:00～18:30 懇親会

第2日目：8月28日(木)

9:30～11:30 専門講座(1)

講師：大阪大学大学院工学研究科 准教授 大畑 充

講義内容：大型溶接構造物の破壊とシミュレーション技術

11:30～12:30 昼食

12:30～14:30 基礎講座(4)

講師：近畿大学工学部 教授 奥本 泰久

講義内容：溶接構造の力学と設計(材料力学の基礎, 疲労強度, 脆性破壊, 残留応力と溶接変形, 溶接継手設計, 溶接構造設計)

14:40～16:35 専門講座(2)

講師：(株)日立製作所 チーフエキスパート 高井 英夫

講義内容：摩擦攪拌接合(FSW)技術

16:35～16:40 閉会の挨拶

中国支部副支部長 平岡 裕 氏(岡山理科大学)

中国支部では、会員増強および溶接・接合に関する基礎知識の普及を目的に、主に中国支部所属の大学教員が講師となって、「溶接・接合工学学修会」を開催しています。対象は、特に、日頃の業務で溶接・接合に関する知識・経験を得る機会の少ない、各分野の若手設計技術者・生産技術者です。中国支部では、学修会受講者を当該年度限定で「準会員」として登録し、学修会以外の中国支部主催行事（講習会、研究会・見学会、総会）に、会員と同じ資格で参加出来るようにしています。これは、少しでも学会活動に興味を持っていただき、学会員あるいは賛助員企業の増強を図るために実施しています。広島県、山口県、鳥取県に続き、本年度は岡山県で開催しました。

今回は、2日間の日程で、4つの基礎講座および2つの専門講座を実施しました。基礎講座は、溶接学会編「溶接・接合技術入門」を用いたWES2級相当の内容であり、毎回実施しています。また、受講者には受講証とともに、「IIW溶接技術者資格」特認コース履修ポイントおよび「ISO14731 / WES8103溶接管理技術者」再認証クレジットポイントを発行しています。今回は、若手会員の会運営委員会から、大畑充先生（大阪大学）および寺崎秀紀先生（大阪大学）を派遣していただき、それぞれ、専門講座および基礎講座をご担当いただきました。今回は、これまでで最多の61名の参加があり、大盛況でした。また、多くの若手技術者が受講しており、中国支部、特に岡山地区の製造業の活気が伝わってきました。

本学修会は非常に好評ではありますが、他支部と同様に、中国支部においても支部単独で講師の先生を確保す

ることが年々難しくなっています。また本学修会は、受講料を3,000円とした講師の先生によるボランティア的な活動であるため、遠方からの講師を招くことがなかなか出来ませんでした。今回のように、若手会員の会運営委員会から講師の先生を派遣していただくと、支部活動が非常に柔軟に実施できるようになります。

さらに、若手受講生や学会支部で活躍されている若手研究者にとって、懇親会などを通じて、学会本部でご活躍の若手の先生との交流を図ることが出来る貴重な機会となりました。一方、若手会員の会運営委員会の若手研究者にとっても、地方において今後の各種製造分野を担う若手技術者や研究者の生の声を聞く良い機会になったのではないかと考えています。受講生からのアンケート結果では、経験豊かな先生の講義にも高い評価がありましたが、若い先生の斬新で分かりやすい講義にも非常に高い評価がありました。また、懇親会にも若手の受講生が多数参加しており、気軽な雰囲気の中で講師の先生と直接交流することが出来たことも大変好評でした。

今後も、若手会員の会運営委員会の国内向けの活動の一つとして、若手会員の会運営委員会主催の基礎セミナーなどの実施や地方支部主催の各種行事への共催、地方支部で活躍されている若手技術者・研究者との現地での生の交流などを行っていきたくと考えています。若手会員の会運営委員会では、地方支部の活性化や若手会員増強の一助となるように、地道ではありますが、今後もこれらの活動を積極的に行っていく予定です。各支部からのご意見・ご要望など、是非、若手会員の会運営委員会までご連絡ください。



図1 学修会の様子